

◆◆◆ JBBY50周年記念連続講座「日本の国際アンデルセン賞受賞作家たち」◆◆◆

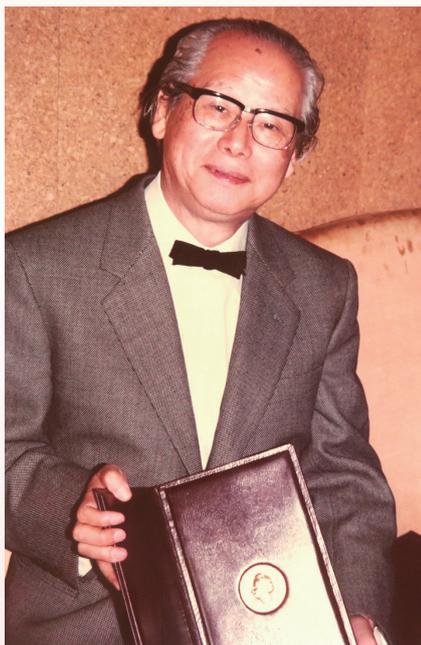
第3回



日本初の国際アンデルセン賞画家賞に輝いた

絵本画家・赤羽末吉の誕生とその業績

末吉研究の第一人者と、絵本作家デビュー当時を知る元編集者が作品の魅力と画業を語る



『スーホの白い馬』（大塚勇三再話 赤羽末吉画 福音館書店）

【日 時】 7/21（日） 14時～16時 開場 13時30分

【講 師】 赤羽茂乃（赤羽末吉の研究者）・荒川薫（元福音館書店編集者）

【会 場】 ①出版クラブビル・会議室 / 対面



東京都千代田区神田神保町 1-32
「神保町駅」A5 出口より徒歩2分

②オンライン ※見逃し配信はありません

【定 員】 ① 50人 ② 50人 ※申込先着順・高校生以上参加可

【参加費】 ① 1,320円 ② 990円

※お客様のご都合によるお申し込み後のキャンセルおよび返金はお受けしていません。
あらかじめご了承ください。

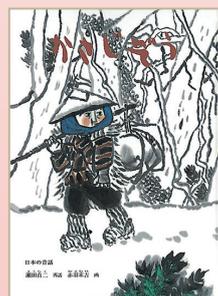
【協 力】 福音館書店



▲『そら、にげる』
（赤羽末吉 作・絵 偕成社）



▲『だいくとおにろく』
（松居直再話 赤羽末吉 画
福音館書店）



▲『かさじょう』
（瀬田貞二再話 赤羽末吉 画
福音館書店）

お 申 し 込 み

外部サイト「Peatix」からお申し込みください。
クレジットカード決済が振り込みが可能です。
<https://jbbyonline049.peatix.com>



●子どもゆめ基金助成活動●





①『ももたろう』松居直文 赤羽末吉画 福音館書店 ②『へそとりごろべえ』赤羽末吉 詩・画 童心社 ③『王さまと九人のきょうだい：中国の民話』君島久子訳 赤羽末吉絵 岩波書店
④『さるとかに』神沢利子文 赤羽末吉絵 BL出版 ⑤『おへそがえる・ごん』（1ぼんこつやまのぼんとこんたの巻）赤羽末吉作・絵 福音館書店 ⑥『鬼のうで』赤羽末吉文・絵 偕成社

「小さなノーベル賞」と称される国際アンデルセン賞。1953年にIBBY（国際児童図書評議会）が創設し、子どもの本に貢献してきた作家と画家の全業績に対して隔年に授与されます。IBBYをはじめ、IBBYの各国支部が作家と画家を推薦し、国際審査を経て受賞者が決定します。日本からはこれまでに5人の作家・画家が受賞しました。

連続講座の第3回は、日本のみならずアジアではじめて受賞の榮譽に輝いた赤羽末吉。日本的な手法と独自のダイナミズムで欧米諸国を驚かせた赤羽絵本の魅力を、絵本誕生の裏話や国際的な評価とともに、赤羽末吉の人と作品をよく知るお二人に伺います。

赤羽末吉（あかば・すえきち）



1910年東京に生まれ、22歳の時旧満州に渡る。満洲電信電話株式会社に職を得るが、日本画家としても活躍する。1947年帰国。アメリカ大使館で働きながら、50歳のときに、『かさじぞう』（福音館書店）で絵本作家としてデビュー。1980年、日本人として初の国際アンデルセン賞画家賞受賞。主な作品に『スーホの白い馬』『ももたろう』『ほしになったりゅうのきば』（福音館書店）、『王さまと九人のきょうだい：中国の民話』（岩波書店）、『そら、にげろ』『鬼のうで』『絵本わらべうた』（偕成社）、『へそとりごろべえ』（童心社）、『黄金りゅうと天女』『さるとかに』『ほうまんの池のカップ』（BL出版）などがあり、1990年に他界するまでたくさんの絵本を子どもたちに贈り続けた。

【講師プロフィール】

●赤羽茂乃（あかば・しげの）



赤羽末吉の三男研三と結婚。11年間に渡り、義父末吉の近くで暮らし、その日常に触れる。末吉他界後、研三とともに、遺された原画、スケッチ、資料等の整理に携わり、赤羽末吉の人生とその作品について調査を続け、各地で講演活動をおこなっている。著書に『絵本画家赤羽末吉：スーホの草原にかけける虹』（福音館書店）、共著に『現代俳句の新鋭4』（ギャラリー四季）がある。

●荒川薫（あらかわ・かおる）



福音館書店編集部で4年間勤務の後、童話作家として活動する。現在、地域で絵本やわらべうたの魅力を伝える活動を続けている。文章を手がけた絵本に『ころころだるまさん』（赤羽末吉絵）、『あしたてんきになあれ』（長新太絵）、『わたしはくちょうをみたの』（荒川暢絵）他がある。

◆◆◆◆◆ JBBY50周年記念連続講座 ◆◆◆◆◆

●第1回 5/18（土）

時代の寵児 安野光雅の世界
—美術館の仕事から学んだ
安野本の面白さ—

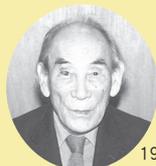


講師：廣石修
（元・安野光雅美術館
副館長）
協力：安野光雅美術館

1984年 画家賞

●第2回 6/8（土）

まどさん、まどしてる
「ぞうさん」の詩人 まど・みちおの世界



講師：市河紀子
（フリーランス編集者）

1994年 作家賞

●第4回 9/14（土）

世界のしらべ 物語の灯り



講師：上橋菜穂子
（作家）

2014年 作家賞

（撮影：小池博）

●第5回 10/5（土）

物語は水平線をこえて



講師：角野栄子
（作家）

2018年 作家賞

■お願い■

この活動は、子どもゆめ基金への報告のために、参加者の写真を撮影させていただきます。子どもゆめ基金に提出した個人情報（写真）は、「（独）国立青少年教育振興機構が保有する個人情報の適切な管理に関する規定」に基づき、子どもゆめ基金助成業務以外の目的には使用されません。なお、会場の遠景写真（参加者は後ろ姿のみ）を、主催者広報用にHPやSNS、刊行物等に掲載することがあります。